

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」所沢校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月6日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしながら、共感的な支援を行っていること。	・日々の支援のFBだけでなく、支援の合間に保護者の方と日ごろの様子について共有していただくと共に、日常生活での喜びごとや困りごと、内容に応じて教室全体で共有し、喜び合ったり方策を一緒に考えたりしている。	・保護者の方もお子さんも、日頃の様子について話を聞いてほしいと思える環境づくりと関係構築を継続的に行う。
2	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っていること。	・契約時に、運営規定や個別支援計画、利用者負担について説明している。保護者からの質問があれば、その都回答している。 ・運営規定、契約書、重要事項説明書等は保護者の待合スペースにファイリングし、いつでも閲覧できるようにしている。	・契約時の丁寧な説明や質問への回答を継続する。
3	適切な職員配置のもと、こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成し、それに則った支援を行っていること。	・保護者の方との面談、面談にあわせたアセスメント実施を確実にやっている。 ・個別支援計画更新のタイミングで教室内でミーティングを行い、支援計画を踏まえた支援の振り返りと今後の支援内容に対する検討を必ず実施している。	・丁寧なアセスメントや支援内容検討を継続的に実施する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士・きょうだい同士の交流の機会がなく、保護者やきょうだいに向けての支援や、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が不十分なこと。	・現状、保護者会やきょうだい向けのイベントを実施していない。 ・「きらり」主催での家族支援プログラムを実施していない。 ・外部の研修については、チラシを保護者の待合スペースに置いて周知しているが、個別でのご案内等は行っていない。	・利用者からの要望があった場合、実施を検討する。 ・要望があれば「きらり」主催の家族支援プログラムの実施を検討する。 ・外部研修のチラシについては、フィードバックを利用して個別にご案内を差し上げる。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がないこと。	・現状、園や地域の中で活動する機会を提供していない。 ・保護者からの要望をいただいたい場合、或いは支援の中で必要性を感じた場合に園との情報共有を行っているが、頻繁ではない。	・要望があった場合、行政や関係者とも相談しながら実施を検討する。 ・よりよい社会生活に向け、園との連携・交流については積極的な実施が実現するよう調整する。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施していることの周知が不十分なこと。	・定期的な防災訓練は行っており、実施の予定は掲示しているものの、それ以上の周知は特段行っていない。 ・実施後の報告を周知する機会が乏しい。	・防災訓練実施後の報告書も掲示を行う等、利用者に見える形で周知を行う。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」所沢校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

28

回収数

28

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	8	1	0	・個室になってると良いと思います ・もう少し体を動かせるスペースがある と良いなあとは思いますが、そもそもの 部屋の広さや他の子供達との兼ね合いを 考えると難しいと思います。 ・基本は確保されているが、日により狭 い時もある。その場合も机に向かったの 作業は問題なし。 ・通所を始めた頃に比べて児童が増えた ようで、全体のスペースに対して児童が 多いように感じます。 ・他の児童との間にパーティションが設 置されているものの近く感じます。 ・同時支援が3人になると少し狭く感じ た。	・利用児の発達段階や支援内容に応じ て、出来る限りゆとりをもったスペース で支援が行えるよう、工夫や配慮を重ね ていく
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1	0	0	・土曜日は平日よりも、需要があるた め、人数確保できたらありがたい。	・今後も適切な人員配置のもとでの支援 が継続できるようにする
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	5	0	2	・特記なし	・利用者の特性に合わせて、支援スペースの 使用箇所やパーティションの利用を工夫し、 できるかぎり配慮しながら対応する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	5	0	0	・特記なし	・定期的な清掃を継続しながら、清潔感 のある環境を維持できるよう対応する
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	26	2	0	0	・支援者により大きく支援内容、課題へ の取り組み、対応に差がある。 ・ずっと同じような物を繰り返して 先に進んでほしいと思うものもある。	・利用児の現状を適切に把握し、よりよ い成長発達に向け、より有用な支援を提 供できるよう教室内で検討を重ねてい く。 ・研修への参加や教室内でのケース会議 を重ね、支援者の質向上に向けた取り組 みを行う。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	24	1	0	3	・特記なし	・作成した支援プログラムをホームペ ージにて公表中。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	27	0	0	1	・いつもきめ細かく対応してくださっ ています。	・保護者の方のお話を共感的に傾聴す ると共にお子様の現状をより正確に把握 し、個別支援計画へと反映させる
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	2	0	2	・出来ているものもあるけれど全てが 出ているともいえないので。	・支援期間を通じて、明記された目標に 沿った支援を網羅的に提供できるよう、 教室内で工夫・検討を重ねていく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1	0	0	・特記なし	・個別支援計画の内容を確認した上で支 援に臨むようにしている
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	23	2	0	3	・特記なし	・個別支援計画をもとに、利用児の現 状にあった様々な活動が提供できるよう、 工夫を重ねていく
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	10	1	6	11	・特記なし	・要望があれば機会提供を検討する
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	0	・特記なし	・契約時に説明している
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	2	0	・特記なし	・作成時に毎回説明の上、保護者の同意 をいただいている
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	13	2	3	10	・その日の支援のフィードバックは毎 回いただいております。 ・まだ通い始めたばかりということも あり、研修などはしたことがないので分 かraないです。	・FB時の相談支援や家族支援を通じて、 保護者の方への直接的な支援を継続す る。 ・地域の研修案内を保護者の待合ス ペースに掲示することで、情報を得られ るよ

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2	0	1	・特記なし	・毎支援後に保護者へFBを行い、家庭や園での様子についても情報共有を行うようにしている
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1	0	2	・㊸と同様です。	・支援後のFBやモニタリング面談、家族支援等を通じて行っている
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	0	0	0	・特記なし	・利用児の成長を保護者と共に喜び合いながら支援を提供できるようにする
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	9	10	・㊸、㊹と同様です。 ・父母の会等の保護者会には参加したことがないので、わかりません。	・要望があれば、実施を検討する
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	1	3	・特記なし	・契約時に説明をしている。その他、支援後のFB時に案内をし、要望があれば迅速に対応するようにしている
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1	0	0	・特記なし	・電話やLINEなど、状況に合わせた複数の連絡手段を用意している
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	0	3	・しっかり、対応してくれている。	・ブログやInstagramで活動に内容を発信している
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1	0	2	・個人情報を記入した提出済みの書類を紛失されてまだ出してないと言われて再提出した。	・法令に則り、十分に注意しながら取り扱っている
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2	0	4	・特記なし	・契約時に説明している。各種訓練は規定回数を守って実施している
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2	0	13	・特記なし	・月1回実施している
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	1	3	・特記なし	・契約時に説明している。支援中も、安全に留意しながら関わっている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	0	10	・特に事故や怪我をしたことがないので分かりませんが、そうしたことが起きたときのマニュアル等は整備されていると思います。 ・ちょっとした尻もちでも謝罪と共に配慮が足りなかったと報告をしてもらい、こちらが驚くぐらいきちんとされていると思います。	・契約時に説明している ・今後も、安全な環境下で支援を行えるよう配慮を行う
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	1	0	2	・自宅外の安心できる場所として、気持ち荒れた時に通所日以外も外観を見に行くぐらいなので、ホッとする存在だと思います。 ・安心できる場所として、緊張感なく通えている。素を出せている。	・利用児が安心して通所できるよう、環境構成や支援内容に配慮しながら支援を提供していく
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	2	1	1	・特記なし	・利用児が楽しみながら活動できるよう、支援内容や提供方法を工夫しながら関わっていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	2	0	1	・スポット利用をさせていただける施設がこちらのみでした。今のご時世はどちらの療育施設も空きが無く、通うことがとても困難となっておりますが、だからこそ本当に助かっております。 ・子供も楽しく通っております。心より感謝申し上げます。 ・支援者の支援内容に大きな差がある。経験値の問題なのか指導内容に不満がある場合が多い。	・利用児だけでなく、保護者の方にも満足していただけるような支援が今後も提供できるよう、工夫や配慮を重ねていく

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025 年 2 月 14 日				
事業所名		こどもサポート教室「きらり」所沢校				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用人数や児童の実態に応じて、適切なスペースの確保が可能になっている。 ・パーティションで区切って必要な支援スペースを作る事は出来ている。	・やや場所が狭い為、活動的な児童がいるとスペースが足りないと感じる時はある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・適切に配置出来ていると思う。 ・必要に応じてFB時に対応する職員をつけている。	・今後も適切な人員配置のもと、教室運営を継続できるよう尽力する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・事務所スペースの入り口には線を引く等、分かりやすいような工夫をしている。 ・壁面やお知らせを支援のブース外に掲示してしけ区的刺激を減らすなど配慮されている。	・バリアフリー化は出来ていない。 ・教室が既存の物件であるため改善することが難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・定期的に掃除を行っており、支援スペース全体にマットを敷いている事で、リラックスして過ごしやすい空間になっていると思う。	・ジョイントとマットの清掃が必要なこと、位置ずれが起きないように注意する必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・年齢や身体の大きさに応じた椅子、机を使用している。 ・必要に応じてパーティションを移動し、支援時の環境を変えられるようになっている。	・クールダウンスペースに出来る場所はないと感じる。 ・備品等の安全点検を頻繁に行うとともに、定期的に教材教具の補充と廃棄を行う必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・目標設定や振り返りは定期的にミーティングで行う事が出来ている。 ・月に1度の目標設定を行い、業務改善に努めている。	・全員出勤日が少ないため、職員間での伝達を確実にを行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年のアンケートを実施し、その結果を元に業務改善につなげている。	・今後もすべての保護者の声を聞き、しっかり寄り添ってご意見をいただく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎週ミーティングを行っており、それを反映して支援を行っている。 ・月に一度の管理者との個別での聞き取り、予算で買う教材など、多くの場で話し合いをする場が設けられている。	・ミーティングを継続的に実施し、効率よく目つ丁寧な情報教諭・業務改善に向けた対応をとる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・機会が無い。	・必要に応じて、実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修や勉強会の機会が設けられている。	・支援を優先することがあったり、日頃の業務で多忙な時期と研修参加の時間の兼ね合いが難しい場合がある。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・作成したものをホームページで公表している。	・今後も適切な手順を踏んで対応する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者からのお話や児童の様子を基に検討し、計画に反映させている。	・今後も適切な手順を踏んで対応する。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ミーティングで意見を出し合う場を設定出来ている。 ・指導員が捉えている支援の実態を踏まえながら検討が行われている。	・今後も適切な手順を踏んで対応する。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・アセスメントシートの記入と共に、日々のミーティングで児童の情報共有を丁寧に行う事が出来ている。 ・データでも紙ベースでも、常に確認できるようになっている。変更等あるたびに周知されている。	・定期的に支援計画に目を通すなどの確認は必要だと考える。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシートの定期的な更新・ミーティングでの情報共有を行っている。	・些細な事案でも見落とさずに共通認識を持っていきたい。 ・作成を行ったきりになってしまいがちで、見直す機会が少ない為、見直す癖をつける必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・必要な支援、具体的な手立て等について児童毎に設定されている。	・移行支援・地域支援については、特にニーズがない事もあるが、あまり実施出来ていない。 ・継続的に保護者の悩みや意見を更に汲み取って家族支援につなげていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・使用する教材について、個人ではなくチームで検討している。	・今後も職員一丸となって取り組みたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・保護者の意向や本人の状況に合わせて変更する際はチームで検討している。 ・各職員が個々の状況に応じて臨機応変に実施していると思う。	・学習中心のお子様のプログラムは固定化されやすい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・小集団支援を定期的に開催している。	・今後も小集団支援を継続して取り入れる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・口頭での確認や予定確認のスプレッドシートを用いて、その日の予定は引継ぎ事項を漏れなく共有できるようにしている。	・定期的に打ち合わせはしているが、毎日ではない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・子どもの様子が気になることはその場で伝え合っている。	・定期的に打ち合わせはしているが、毎日ではない。 ・終了後に共有できない場合は、次の営業日の支援前打ち合わせで必ず行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・確実に行うとともに、他職員による記録チェックを実施している。 ・特記事項はミーティング時に共有している。	・今後もミーティング等に検討事項を話し合っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・モニタリングの際のアセスメントシートを分担しているため、自分事としてモニタリング結果などを捉えることができている。	・今後も定期的かつ確実に実施していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達管理者を中心に、指導員も参画している。	・今後も全ての指導員が関わるようにしていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・他事業所や保育園等と対応の統一を図るための打ち合わせなどを行っている。	・可能な限り連携を強化していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学支援のイベントを開催していく予定である。また、事業所等訪問も行っている。	・児童の支援につながる情報を、更に緊密に交換していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・就学時の移行に伴う共有は前例がない。	・就学は児童にとって大きな環境変化であるため、必要に応じて関係機関とも連携して可能な限り実施していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・地域の研修の参加募集や報告など、共有がなされている。また、外部との関わりの際には、業務負担などを配慮しているため、機会を設けやすい状況である。	・今後も必要に応じて実施していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現状、機会を設けていない。	・交流を持つ機会があればより支援が必要な子供に支援ができる可能性が高まる。



	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・フィードバックを通じて行っている。来所できない保護者もいるが、SNSなどの手段を通して支援の様子などをお伝えしている。	・保護者との共通理解をもっと深めていきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者の待機スペースには、市のイベントや講習会のお知らせのチラシを置いている。 ・家族支援は適宜実施している。	・ペアレントトレーニングを充実させていけるともっと良いと思う。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時やモニタリング面談、運営規程の変更時などの機会を通じて実施している。	・今後とも、丁寧な説明に心がける。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・フィードバックやモニタリング面談を通じて保護者の意向を聞き取っている。	・今後とも、適切に実施していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・確認の上で同意を頂いている。	・今後とも、適切に実施していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・フィードバック時に家庭の様子やお困りごとを伺っている。また、大きな課題を感じている場合には、家族支援のご利用を促している。	・今後とも、適切に実施していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保護者会等は実施していない。 小集団などの保護者同士で関われる支援時間が多少なりにある。 きょうだい同士で交流する機会はフィードバック中にある。	・きらりひろばのようなイベントとして行う機会を設けられる可能性がある。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・ミーティングの際に以外にも、支援時に注意することについて伝えあう習慣や雰囲気教室にできている。	・今後も迅速に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・インスタグラムは週に一回、ブログは月に2回更新している。また、きらりひろばなどのイベントはLINEを通じてお知らせもしている。	・今後は内容を更に発展出来るともっと良いと思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・ガイドラインに沿って実施出来ていると思う。 ・支援時に使用するファイルは、各自がごにしている。また、支援に使用するファイル以外は、書庫にしまっている。	・今後も十分に留意する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・言葉選びなど保護者によって変わるが、その共有や確認をする習慣や雰囲気ができている。	・今後も十分に留意する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・現状、実施していない。	・地域の人と活動するイベント等を行っていない。 ・必要に応じて実施を検討する。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルの整備と職員の訓練は丁寧に実施している。 ・研修や訓練の日に休んだ職員にも共有できるように記録に残している。	・利用者や保護者を含めた訓練を適宜実施しても良いと思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・策定は出来ており、適宜研修・訓練も行っている。	・今後も、必要な研修・訓練を確実に実施していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時やFB、面談の際に適宜確認を行っている。 ・児童配慮事項の表をいつでも確認できるようになっている。	・今後も確実に確認する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		小麦粘土の使用を見据えて、アレルギーの伺いを行っている。	・今後も確実に確認する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・契約時やFB、面談の際に適宜確認を行っている。 ・毎年作成している。	・新しい計画を立てる際には、前年度の反省点を活かしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時に児童発達管理者を中心にお伝えしている。 ・書面での周知を行っている。	・今度とも、確実に周知する。

応	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットが発生した場合には、即時、保護者に謝罪し状況をお伝えしている。</li> <li>・共有と方策の検討は適切に行っている。</li> <li>・上長へ報告している。また、教室をまたいだ共有をする仕組みも作られて活用されている。</li> </ul>	・更に職員間での共有を密にし、事故につながらないようにする。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に研修の実施と、チェックリストの作成を行う事が出来ている。</li> <li>・研修は定期的に行っている。また、抱っこなども場合によっては虐待に当たる可能性があることも共有されている。</li> </ul>	・今後とも、しっかり研修を通じて虐待を起さないように努めるとともに、アセスメント時に虐待チェックリストを作成する。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に保護者への説明を行うとともに、研修等を通じて職員の身体拘束に対する意識を高めている。</li> <li>・全ての子供に対して支援計画に記載し、保護者へ説明を行っている。</li> </ul>	・今後とも、研修等を通じて共通理解をしていく。